

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	理工学部
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 入学者の在学中の学力・適性を評価し、入試制度にフィードバックする枠組みを構築する。	→入学者の在学中の学力・適性。	B
2. 障がいのある学生の受け入れ体制を点検・改善する。	→障がいのある学生への聞き取り調査。	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目5.0.1	(方針) 学院ホームページや入試ガイドを通して学生の受け入れ方針を明示する。 (現状説明) 「求める学生像」は、学院ホームページ上の「理工学部のアドミッションポリシー」に掲載されている。 ( <a href="http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/ja/modules/ug-admissions2/index.php?id=12">http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/ja/modules/ug-admissions2/index.php?id=12</a> ) 「習得すべき知識等の内容」に関しては出願資格として、入試ガイドに記されている。 「障がいのある学生の受け入れ方針」は理工学部としてまだ明示されていない。障がいのある学生に対応するために障がい学生支援委員会が発足した。
☆ 小項目5.0.2	学生募集方法、入学者選抜方法に関してはおおむね適切である。指定校推薦入試に関しては入学後の成績追跡調査に基づく指定校の見直しを開始した。入学者選抜における透明性は詳細な入試データを公開することで、その目的を果たしている。
☆ 小項目5.0.3	(現状説明) 収容定員に対する在籍学生数比率は学部全体で1.14である。学科ごとには、数理1.17、物理1.25、化学1.10、生命1.07、情報1.10、人間1.19であり、いずれも1.3倍以内である。
☆ 小項目5.0.4	(現状説明) 学生募集および入学者選抜に関しては入試制度検討委員会および教授会において定期的に検証を行っている。入試制度検討委員会は2009年度に9回開催された。
☆ その他	

## 《特定6項目データ》

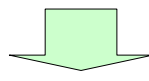
本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【理工学部】		単位	2006	2007	2008	2009	2010	備考
指標1	入学者に占める一般入試入学者の比率	%	79.4%	67.0%	61.4%	63.4%	49.1%	一般入試入学者数÷入学者数 (注)一般入試にセンター入試を含む
表	入試形態別入学者数		→	→	→	→	→	大学基礎データ表15参照
表	学部の社会人・留学生・帰国生徒数		→	→	→	→	→	大学基礎データ表16参照
指標2	志願者総数	人	4,872	5,741	4,878	5,900	6,535	
指標3	志願者倍率	倍	13.5	15.9	13.6	12.8	14.2	志願者÷入学定員
指標4	入学者に占める近畿圏出身者の比率	%	—	—	—	—	—	近畿圏出身入学者数÷入学者数 (注)出身は出身高校の地域による

## ◎効果が上がっている事項

## 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
☆小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	



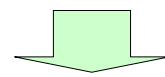
## 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
☆小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

## ◎改善すべき事項

## 【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目5.0.1	「障がいのある学生の受け入れ方針」が明示されていない。
小項目5.0.2	
☆小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	



## 【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目5.0.1	「障がいのある学生の受け入れ方針」をホームページ等を利用して、明示する。
小項目5.0.2	
☆小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

## ◎自由記述

## 【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】

★ その他  
(自由記述)

## Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価推進委員会からの評価＞（実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室）

## 【学外委員】

○一般入試入学者の比率が2010年入試で、49.1%と大きく低下しましたが、その理由と影響はどのようなものでしょうか。

## 【学内委員】

○「求める学生像」は、「『理工学部のアドミッションポリシー』に掲載されているとのことですが、その内容は「人材育成の目標」ではないでしょうか。受験生の目線に立ったアドミッションポリシーの策定が望まれます。

○障がいのある学生に対応するために障がい学生支援委員会を発足させたことは、評価できます。また、入試制度検討委員会も昨年度9回開催されたことも評価できます。

○学生の受け入れ方針については、アドミッションポリシーなどを利用して適切に公表されており、この点は評価できます。ただ、障がいのある学生の受け入れ方針についての公表は遅れており、改善することが望まれます。ただし障がいのある学生に関しては、受け入れに対する具体的な動きもあり評価できます。

○入学者の学力や適性を評価して、今後の入試制度に反映させる諸施策については、順次適切に実施されており、評価できます。

○大学基準協会の「評価に際し留意すべき事項」（ハンドブックP78～）において、水準評価として数値による評価がなされるものに注意してください。「4. 学生の受け入れ ③学部における過去5年の入学定員に対する入学者数比率の平均が1.00である」「同、④学部における収容定員に対する在籍学生数比率が1.00である」については、それぞれ助言や勧告の対象値が示されています。絶えず確認し遺漏のないようにお願いします。

## Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

## 0.1 (改善すべき事項)

★ 「理工学部のアドミッションポリシー」の内容に関しては、理工学部各学科や入試部などの関係部署とも議論を重ね、受験生の目線をより意識したものへと充実させる必要がある。

## 0.1 (改善方策)

学部長室委員会でアドミッションポリシーを再設定する。

## 0.2 (現状説明)

一般入試入学者の比率が2010年入試で49.1%と大きく低下した理由は、2009年に新設した人間システム工学科の指定校推薦入学者が予想以上に多かったためである。そのため人間システム工学科の指定校の見直しを2010年5月開催の入試制度検討委員会で行う予定である。

## Ⅴ 入学者が予想以上に多かったためである。そのため人間システム工学科の指定校の見直しを2010年5月開催の入試制度検討委員会で行う予定である。

5.0.0.S1	学生の多様性の確保－入試形態数と入試形態別入学者の割合
5.0.0.S2	各学部の募集人員のうち、一般入試(センター利用入試を含む)の割合
5.0.0.S3	地域別入試会場別志願者数、受験者数、合格者数、入学者数
5.0.0.S4	入試講評(問題と正解、正答率とそのコメント)の公表とその頒布数
5.0.0.S5	AO入試の受験者数と入学者数
5.0.0.S6	社会人学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S7	専門職大学院(KGPS)の受験者数および入学者数
5.0.0.S8	科目等履修生(教職免許状および博物館学芸員資格取得を含む)の入学者数
5.0.0.S9	聴講生の入学者数
5.0.0.S10	留学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S11	国別留学生数(学部別、研究科別)の経年変化
5.0.0.S12	学部における収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S13	学部における入学定員に対する入学者比率
5.0.0.S14	編入学定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S15	博士課程前期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S16	博士課程後期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在学学生数比率
5.0.0.S17	学部・学科の退学者数
5.0.0.S18	学部・学科の編入学者数

＜個別的な指標＞
